

プロジェクト名	s-flow	分類	仕様書	機能名称	取引先マスタ	作成日	2023/01/19	作成者	川原
概要	取引先マスタのファイル入出力仕様を記載します。					更新日		更新者	

項目名	Seq.	項目内容	入出力		編集属性				表示属性			備考
			入力	出力	PK	必須	桁数	小数部	値範囲	表示書式	初期値	
コード	1	取引先データを管理するコードを最大25文字まで入力します。同じ取引先コードは登録できません。 ※1度保存すると変更できません。	○	○	○	○	25	-				既存の取引先のコードを入力した場合、更新としてインポートがされます。
名称	2	取引先の名前を最大50文字まで入力できます。ここに登録した値が各一覧画面の取引先欄に表示されます。	○	○		○	50	-				
取引先種別	3	取引先の種類を登録します。 ※1度確定すると変更できません。変更したい場合は新しい取引先を登録します。この項目が複数必要な取引先は、別のコードで登録します。	○	○		○	-	-			得意先 仕入先 納入先 倉庫	上書き不可
得意先コード	4	【取引先一覧】に登録されている【取引先種別】が【得意先】のデータを選択することができます。	○	○			-	-			取引先マスタ(得意先)	取引先種別が納入先の場合のみ有効です。 ※ブランクの場合は全得意先共通の納入先として使用可能です。
得意先名称	5	【得意先】に設定した得意先の【名称】が表示されます。		○			-	-				
郵便番号	6	任意で取引先の郵便番号を最大50文字まで入力できます。	○	○			50	-				
住所1	7	取引先の住所を任意の区切りで最大50文字まで入力できます。	○	○			50	-				
住所2	8	取引先の住所を任意の区切りで最大50文字まで入力できます。	○	○			50	-				
住所3	9	取引先の住所を任意の区切りで最大50文字まで入力できます。	○	○			50	-				
住所	10	住所1、住所2、住所3を結合した内容が出力されます。		○			-	-				
電話番号	11	任意で取引先の電話番号を最大20文字まで入力できます。	○	○			20	-				
FAX番号	12	任意で取引先のFAX番号を最大20文字まで入力できます。	○	○			20	-				
担当部署名	13	任意で取引先担当者の部署を最大50文字まで入力できます。	○	○			50	-				
担当者	14	任意で取引先の担当者名を最大30文字まで入力できます。	○	○			30	-				
敬称	15	帳票出力やメール送信をする際に担当者に付与される敬称です。	○	○			5	-				
担当者メール	16	任意で取引先の担当者メールアドレスを最大200文字まで入力できます。 ※複数指定可(カンマ区切り)	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。
支払先コード	17	複数の仕入先を1つの支払先にまとめることができます。ここで入力した仕入先に支払データが作成されます。	○	○			-	-			取引先マスタ(仕入先)	取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
支払先名称	18	【支払先】に設定した取引先の【名称】が表示されます。		○			-	-				
請求先コード	19	複数の得意先を一つの請求先にまとめることができます。ここで入力した得意先に請求データが作成されます。	○	○			-	-			取引先マスタ(得意先)	取引先種別が得意先の場合のみ有効です。
請求先名称	20	請求先に指定された取引先の名称が出力されます。		○			-	-				
決済方法	21	取引先に対する請求を【売掛】か【現金】か設定することができます。請求情報の【決済方法】の初期値となります。	○	○		○	-	-			売掛 現金	
決済条件	22	決済に関わる条件として、50文字以内で任意の値を設定することができます。この項目は各伝票の【決済条件】の初期値となります。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
請求区分	23	請求の方法を【締請求】【個別請求】から選択します。 ※1度確定すると変更できません。	○	○		△	-	-			締請求 個別請求	△：取引先種別が得意先の場合のみ有効・必須です。
支払日区分	24	支払日の初期値の算出方法を【締日指定】【日数指定】から選択します。 【請求区分】が【個別請求】の時のみ選択でき、それ以外は【締日指定】で固定となります。	○	○		△	-	-			締日指定 日数指定	△：取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合、有効・必須です。 取引先種別が得意先かつ、請求区分が「個別請求」以外の場合は「締日指定」を指定してください。
支払サイト	25	売上日から入金予定日までの日数を入力します。売上処理を行ったときに【入金予定日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定できます。	○	○			3	-	1~999			取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が日数指定の場合のみ有効。
締日1	26	請求の締日を入力します。売上処理を行ったときに【売上日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定します。	○	○		△	-	-			1日 ~ 28日 月末	△：取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効・必須です。
支払日1	27	請求の支払日を入力します。売上処理を行ったときに【入金予定日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定します。	○	○		△	-	-			1日 ~ 28日 月末	△：取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効・必須です。
支払月1	28	請求の支払月を入力します。売上処理を行ったときに【入金予定日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定します。	○	○		△	-	-			当月 翌月 翌々月 3ヵ月後 ~ 6ヵ月後	△：取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効・必須です。
締日2	29	締日が2パターンある場合に、2つ目の請求の締日を入力します。売上処理を行ったときに【売上日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定できます。	○	○			-	-			1日 ~ 28日 月末	取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効です。
支払日2	30	締日が2パターンある場合に、2つ目の請求の支払日を入力します。売上処理を行ったときに【入金予定日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定できます。	○	○			-	-			1日 ~ 28日 月末	取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効です。
支払月2	31	締日が2パターンある場合に、2つ目の請求の支払月を入力します。売上処理を行ったときに【入金予定日】に最初に出てくる日付をこの項目で設定できます。	○	○			-	-			当月 翌月 翌々月 3ヵ月後 ~ 6ヵ月後	取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合かつ支払日区分が月日指定の場合のみ有効です。
請求口座コード	32	取引先から入金してもらう自社の口座を指定することができます。	○	○			-	-			銀行口座マスタ	取引先種別が得意先の場合のみ有効です。
請求口座名称	33	請求口座に指定された口座の名称が出力されます。		○			-	-				
銀行名称	34	任意に15文字まで支払先の銀行名称を設定することができます。	○	○			15	-				取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
銀行支店名称	35	任意に15文字まで支払先の銀行支店名称を設定することができます。	○	○			15	-				取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
口座種別	36	任意に10文字まで支払先の口座種別を設定することができます。	○	○		△	-	-			普通 当座 貯蓄 その他	取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。 △：振込データ連携・利用する場合、必須です。
口座番号	37	任意に7文字まで支払先の口座番号を設定することができます。	○	○		△	7	-				取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。 △：振込データ連携・利用する場合、必須です。
口座名義	38	任意に30文字まで支払先の口座名義を設定することができます。	○	○		△	30	-				取引先種別が仕入先・倉庫の場合のみ有効です。 △：振込データ連携・利用する場合、必須です。

プロジェクト名	s-flow	分類	仕様書	機能名称	取引先マスタ	作成日	2023/01/19	作成者	川原
概要	取引先マスタのファイル入出力仕様を記載します。					更新日		更新者	

項目名	Seq.	項目内容	入出力		編集属性				表示属性			備考
			入力	出力	PK	必須	桁数	小数部	値範囲	表示書式	初期値	
振込データ連携	39	ネットバンキングで全銀ファイルによる支払処理を利用する場合はチェックをします。	○	○		○	-	-			利用する 利用しない	
銀行コード	40	振込データ連携で出力する全銀ファイルに記載される銀行コード(数値4文字)を設定します。	○	○		△	4	-				△: 取引先種別が仕入先・倉庫の場合かつ振込データ連携・利用する場合、有効・必須です。
銀行名称(ｶ)	41	振込データ連携で出力する全銀ファイルに記載される銀行名称(半角カナ15文字まで)を設定します。	○	○		△	15	-				△: 取引先種別が仕入先・倉庫の場合かつ振込データ連携・利用する場合、有効・必須です。
銀行支店コード	42	振込データ連携で出力する全銀ファイルに記載される銀行支店コード(数値3文字)を設定します。	○	○		△	3	-				△: 取引先種別が仕入先・倉庫の場合かつ振込データ連携・利用する場合、有効・必須です。
銀行支店名称(ｶ)	43	振込データ連携で出力する全銀ファイルに記載される銀行支店名称(半角カナ15文字まで)を設定します。	○	○		△	15	-				△: 取引先種別が仕入先・倉庫の場合かつ振込データ連携・利用する場合、有効・必須です。
自社営業担当者コード	44	【ユーザー】に登録されたデータから自社営業担当者を選択できます。	○	○			-	-			ユーザーマスタのユーザーID	取引先種別が得意先の場合のみ有効です。
自社営業担当者名称	45	【自社営業担当者】に設定したユーザーの【ユーザー名】が表示されます。	○	○			-	-				
取引先単価区分コード	46	商品マスタの【販売単価区分】が【単価マスタ】の場合、単価マスタの【取引先単価区分】と一致する単価を取得します。【区分一覧マスタ】>【区分種別】が【取引先単価区分】のデータを選択できます。	○	○			-	-			区分マスタ(取引先単価区分)	取引先種別が得意先または仕入先の場合のみ有効
取引先単価区分名称	47	取引先単価区分に指定された区分の名称が出力されます。	○	○			-	-				
税計算区分	48	税計算の分類を登録します。【税抜】【税込】【対象外】から選択できます。 ※1度確定すると変更できません。	○	○		△	-	-			税抜 税込 対象外	△: 取引先種別が得意先・仕入先の場合必須です。 上書き不可 税区分コードで指定された税区分の「税計算区分」と一致している必要があります。
税区分コード	49	税区分を選択します。【税区分一覧】に登録されているデータから選択でき、【税区分一覧】の【税計算区分】と一致する【税区分】をこの項目に選択します。	○	○		△	-	-			税区分マスタ	△: 取引先種別が得意先・仕入先では必須です。
税区分名称	49	【税区分】に設定した税区分の【名称】が表示されます。	○	○			-	-				
登録番号	51	通格請求書発行事業者の登録番号を設定できます。設定すると、発注・入荷一覧でご確認いただけます。 発行事業者とそれ以外で【税区分】を分けると「仕入元帳(税区分集計)」で集計できます。	○	○			14	-				取引先種別が仕入先の場合のみ有効です。
販売単価掛率(%)	52	商品マスタの【販売単価区分】が【販売単価掛率】の場合、商品マスタの【上代単価】の金額から販売単価掛率を掛けた値を単価に設定することができます。	○	○			5	2	0以上	# #9.99		取引先種別が得意先の場合のみ有効です。
補助科目コード(BS)	53	ここで入力した値を【会計仕訳一覧】に補助科目コードとして表示させることができます。	○	○			25	-				取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
補助科目コード(PL)	54	ここで入力した値を【会計仕訳一覧】に補助科目コードとして表示させることができます。	○	○			25	-				取引先種別が得意先・仕入先・倉庫の場合のみ有効です。
備考	55	任意に最大200文字まで、備考として値を設定することができます。この項目は各伝票の【備考】の初期値になります。	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。
送り状請求先コード	56	送り状データに出力する請求先コードを指定してください(クローネコマのみのみ)	○	○			20	-				取引先種別が倉庫の場合のみ有効です。
送り状荷送人コード	57	送り状データに出力する荷送人コードを指定してください(西濃運輸のみ)	○	○			11	-				取引先種別が倉庫の場合のみ有効です。
特記事項	58	任意に最大200文字まで、特記事項を入力することができます。この項目は各伝票の【特記事項】の初期値になります。	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。
伝票テキスト1	59	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト1名称を設定します。
伝票テキスト2	60	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト2名称を設定します。
伝票テキスト3	61	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト3名称を設定します。
伝票テキスト4	62	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト4名称を設定します。
伝票テキスト5	63	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト5名称を設定します。
伝票テキスト6	64	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			50	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票テキスト6名称を設定します。
伝票メモ1	65	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票メモ1名称を設定します。
伝票メモ2	66	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票メモ2名称を設定します。
伝票メモ3	67	任意に入力できる項目です。入力した内容は、取引伝票の登録時に初期値として表示されます。	○	○			200	-				取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票メモ3名称を設定します。
伝票選択1コード	68	任意で区分を設定できます。選択項目は【区分一覧】から追加・修正が可能です。	○	○			-	-			区分マスタ(伝票選択1区分)	取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票選択1(コード)を設定します。
伝票選択1名称	69	【伝票選択1】に設定した区分の【名称】が表示されます。	○	○			-	-				※項目名はテナント設定に設定された伝票選択1(名称)を設定します。
伝票選択2コード	70	任意で区分を設定できます。選択項目は【区分一覧】から追加・修正が可能です。	○	○			-	-			区分マスタ(伝票選択2区分)	取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票選択2(コード)を設定します。
伝票選択2名称	71	【伝票選択2】に設定した区分の【名称】が表示されます。	○	○			-	-				※項目名はテナント設定に設定された伝票選択2(名称)を設定します。
伝票選択3コード	72	任意で区分を設定できます。選択項目は【区分一覧】から追加・修正が可能です。	○	○			-	-			区分マスタ(伝票選択3区分)	取引先種別が得意先・仕入先の場合のみ有効です。 ※項目名はテナント設定に設定された伝票選択3(コード)を設定します。

